

伊賀千紘さん、第 33 回日本受精着床学会世界体外受精会議記念賞受賞

平成 27 年 11 月 26 日～27 日に東京都で開催された第 33 回日本受精着床学会において、弘前大学医学部医学科 4 年生の伊賀千紘さんが世界体外受精会議記念賞を受賞しました。学会には 400 題を越える演題が登録され、全演題のなかから記念賞候補に事前選出され、学会での講演の後の審査で受賞が決定いたしました。

今回受賞に至った研究「精巣刺激による子宮内膜 NK 細胞のサイトカイン産生能についての検討」は、医学部 4 年生が 4 ヶ月間にわたって各研究室に配属されて研究活動を行う研究室研修での研究の成果です。今回の結果を得るまでにその準備も含め、3 年間にわたって研究を行い、その成果を本年産科婦人科で研究を行ってくれた伊賀さんが発表してくれました。本研究は精液を用いて血液や子宮内膜に存在する免疫担当細胞を刺激することにより、それぞれのカップルの組み合わせにより免疫担当細胞から産生されるサイトカインの産生が異なることを明らかにしたもので、不妊症・不育症の原因解明と新しい検査法開発につながる可能性があると思われます。

(産科婦人科 福井淳史)

